



ゆ〜かい〜ぶす 14号

兵庫高等学校第2学年

「御馳走帖」の話

2組担任 Y. H.

ほとんどエッセイを読まないが、手元に一冊だけ、古本屋で買った内田百聞の「御馳走帖」(中公文庫版)というエッセイ集がある。題名の通り食通のエッセイ。これを、気が向いた時、気が向いたページをばらばらめくる。おからの話、油揚げにまつわる話、自分が食べたい旨いもの備忘録(これは戦中の食糧難の時のもの)、などなど。

昭和の文人によって描写される日常の風景は、淡々としているが無味乾燥とは対極にある。香ばしい匂いや懐かしい手触り、その食べ物にまつわる百聞先生の周囲の人々がふわりと立ち現れては消えてゆくので、十ページほどめくっていると、もう“お腹いっぱい”。そこでページを繰る手を止めて本を置く。ふと、お腹がすいていることに気がつく。そんな本である。

忙しい日常に追われて気持ちがささくれ立っている時、お腹がすいていることにも気がつかない。これから皆さんは、高校二年生が終わって高校最後の学年が始まり、大学受験が控えている。けれど、それだけではなく、その先にもまだまだ人生は続いていく。時には自分に「落ち着け」といくら言い聞かせても、焦りが先立つ時もある。だからこそ、ちょっと立ち止まるための、自分を取り戻すための“何か”を是非見つけておいてほしいと思う。

まあ、百聞先生は超然と「ああ、お腹がすいた」と呟かれるだけなのだけけど……。

2学期期末考査後、行事が続きました。学校での勉強とは違った角度からの、心地よい刺激になったのではないのでしょうか。



小論文リライトのための講演 &リライト

2013/12/16

小論文ヘトライ

1組 M. Y.

受験でも就職でも必要となる小論文。初めは難しいものと思っていました。しかし今回の講演で、そのイメージがガラッと変わりました。小論文は感想文とは違い、自分の意見をいかに読み手に納得させるかが重要です。そのためには、様々な視点から物事を捉え自分の意見を確立させていくことが必要だと教わりました。だから小論文を書くことの第一歩は、ニュースや新聞などで世の中の動きを知り、知識を蓄えることなのだと思います。またそうした知識を身に付けることは、小論文を書くことに関してだけでなく、将来他の事をする上でも私達の力になってくれると思います。

小論文を通して

4組 H. U.

小論文は、これから大学入試や入社試験で使うことがあると講演で聞いて、全力で取り組みました。

小論文は、書き方が決まっていますが、それに慣れさえすれば簡単だと思っていました。しかし、小論文は、自分の体験や社会問題など、あらゆる出来事を根拠にして書き上げるので、多くの知識が必要だと知りました。実際、二度目の講演でのアドバイスから、過去の社会問題を根拠にして文章に入れてみると、前回より説得力が増したように感じました。

今回、小論文の書き方を学ぶと同時に、自分の考えを相手に納得してもらおう方法も身についたように感じます。これから、もっと社会に目を向けていこうと思います。

進路講演会～クラシックギター演奏

鈴木一郎氏（54歳）

2013/12/17



今を大切に

5組 N. K.

今回、この進路講演会を聞いて思ったのは人生の中で、高校生である今がとても大切である、ということです。

話をして下さった鈴木さんが今の生活を始めたきっかけも、怪我をして野球を辞めた高校時代にあったし、何より印象に残っているのが、高校生の時に甲子園に出場した思い出話をしていただいた鈴木さんがとても楽しそうだったということです。どれだけ時間が経っても、高校時代の思い出はちゃんと記憶に残っているんだなと思いました。

私も、たくさん思い出を作って今を大切にしようと思いました。

進路講演会を聞いて

6組 T. M.

先日、鈴木一郎先生を講師に迎えた進路講演会がありました。先生はクラシックギターの世界的な奏者ということで、演奏を披露していただきました。普段クラシックギターに触れることがないので先生の楽曲も演奏もとても印象的でした。特に印象的だったのは波紋という曲です。なんだが適当にひいているような気がしても曲として雰囲気生まれているので驚きでした。

また先生との質疑応答でも、留学した時の話や先生の学生時代の話など興味深いものがいっぱいでした。僕もギターの練習に関して質問させてもらいましたが丁寧に答えてもらうことができ嬉しかったです。

先生からたくさん興味深いお話を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごせました。

個人情報に関する講演会

インターネットをめぐるトラブルとその対策

2013/12/18

携帯電話を正しく使う

7組 K. S.

小学校1年生の時から携帯電話を持っていますが、携帯電話によるトラブルは一度も起きていません。正しい使い方ができているからです。

以前はLINEや、SNSに憧れることもありましたが、今日の講演会で改めてネット上のトラブルの恐ろしさを実感し、危険なリスクを背負ってまでする必要はないと思いました。

講演会で学んだこと

2組 I. C.

今回の講演会を通して、普段は何気なく使っていたスマホだけど、本当は注意して使わないといけないものなんだということが分かりました。

自分のスマホの使い方は正しいか、インターネットに依存していないか、再確認するいい機会にもなりました。

印象に残った話はLINEの話です。LINEが作られたのは震災がきっかけだったということを初めて知りました。また、既読機能の本当の意味を知って驚きました。

スマホなどの情報機器が悪いのではなく、使う人の問題なんだということを知って、スマホに対する考え方が変わりました。

この講演会で学んだことを活かして、これから情報機器を正しく扱えるようになりたいと思います。

芸術鑑賞会

第1部 弦楽部・吹奏楽部・管弦楽団

第2部 ゲスト演奏（歌・ピアノ独奏・

クロマティックハーモニカ演奏）

2013/12/19



感動した芸術鑑賞会

3組 G. U.

開場までマクドで時間を潰していました。本当に失礼な話ですが、友達と「ええ感じで眠たいわー。」という寝る気しかたないような会話をしていました。ホールでプログラム

のプリントが配られて見てみると、楽しみになってきました。「あの先生指揮するんや。」と隣と盛り上がっていました。弦楽のきれいな音色から始まり、吹奏楽の迫力ある演奏や、ゲストの方々の歌と演奏の全てに聞き入っていました。

普段部活中に聞こえてくる曲のいろんな部分が今回の鑑賞会でつながり、感動していました。鳥肌が立つときもあり、あまりのすごさに結局一睡もせず鑑賞会が終わりました。本当に素晴らしかったです。ありがとうございました。

感動しました！

2組 E. M.

音楽鑑賞会の前半では、友達のいつもと違う所がみれました。その曲に入りこんで演奏してたのが印象的で、先生の指揮にも驚きました。毎日練習する大切さを痛感しました。

後半ではプロの技術に圧倒されました。特に歌手の2人は、声量が日本人とは思えないほどでした。ピアノの演奏は知っている曲というのもあって、すごく楽しめました。指の動きの早さと、表現力に感動しました。でも何よりも、ハーモニカが凄かったです。あんなにも色々な音の出し方ができるとは思っていなかったし、迫力がありすぎました。始めから終わりまでずっと見とれてました。

改めて、音楽っていいなと思えた音楽鑑賞会でした。



大舞台、芸術鑑賞会を終えて。

弦楽部 S. T.

私たち弦楽部の大きな舞台、それが芸術鑑賞会です。そこで今年はいネクライネナハトムジークという多くの人が知っている有名曲などを演奏させていただきました。期末テスト直後という限られた練習時間のなか友達に聴かせられるような演奏をするために一生懸命練習し、弾ききることができました。

また吹奏楽部とのオーケストラは、演奏している自分達がなにより楽しむことができたので良かったと思います！これからももっともっと上手くなれるように日々練習に励んでいきたいです。聴いてくださりありがとうございました！

芸術鑑賞会を終えて

吹奏楽部 S. H.

大きな行事がまたひとつ終わりました。

みなさん、ホールでの演奏はどうでしたか？普段の学校生活では見られない友達の一面も見る事ができたのではないのでしょうか。

今回、私は吹奏楽とオーケストラで吹かせていただきました。演奏した3曲すべてにソロパートがあり、不安でいっぱいでしたが、あれだけ客席に知っている顔があるなか吹かせていただけて本当にいい経験になりました。まだまだ自分には反省・課題点がたくさんあります。これからもよりよい演奏ができるように頑張っていきたいと思います。

響け！輝け！突っ走れ！ドカンと一発兵庫ブラス！！

出張講義

大学の先生に来ていただいて、
本校で大学の授業を体験するという
〈ありがたき〉企画！

2013/12/20

「システム」「制御」「情報」技術
を体験してみよう！

出張講義を終えて

4組 M. H.

私は「『システム』『制御』『情報』技術を体験してみよう！」という講座を受けました。そこで、顔認識システムや、キネクト、音声処理、トイレタンクの仕組みについて教えてもらいました。

その中で1番面白かったのはキネクトです。キネクトとは、マーカをつけずに人の姿勢や動き、奥行きを計測できる機械です。パソコンでアバターを表示させ、キネクトの前に立って動くとアバターも同じ動きをする、というのを実際にやらせてもらえました。

今回の出張講義で、普段の生活では知ることのできないことをたくさん教えてもらえたので、とても楽しかったです。



都市・建築分野での コンピュータ設計研究のいま

街を支える環境都市工学

4組 M. F.

私は大学では建築学を専攻したいと思っていますが、環境都市工学にはあまり興味がありませんでした。しかし、今回の講義を受けて環境都市工学がどのように街をつくり、支えているかを知りました。特に印象に残っているのは VR という街の様子を CG で表すもので、これを使うと専門家と依頼者が一緒になって、案件について迅速に検討し、判断できるという点がとても魅力的でした。また、情報技術の発達などにより、同じ時間や同じ場所に集まることができなくても、テレビ電話で VR を使うことによって会議ができるようになりました。今回は阪大研究室の方と実際にテレビ電話で会議をし、とてもいい経験になりました。これからは今回の講義で学んだことを参考に、広い視野で将来について考えていきたいと思っています。

電子が織りなす永久磁石と 超伝導の不思議な世界

超伝導の可能性

5組 Y. K.

今回僕は 阪大基礎工学部の北岡先生の講義を受けました。物理が好きな人にはとても興味をひく題名で、内容も最近習ったシャルルの法則が関係していたりして面白く、勉強になりました。特にリニアモーターカーも超伝導を利用して少し浮いているという事が勉強になり、僕達が 30 才の頃に完成する予定と知り、わくわくしました。先生の話がとても面白く自分の将来の進路について考えるいい機会になって良かったです。

体に良い食べ物、悪い食べ物を 考える食品機能学

意外と知らない食べ物のこと

7組 K. N.

皆さんは普段食べてるものの危険性を考えたことがあるでしょうか？私はほとんど考えたことがなかったです。

しかし、この出張講義を通して意外と自分が食べてるものって知らないことが多いんだなと感じました。たとえば体に良いと言われる野菜、人参ばかり食べ過ぎるとガンになりやすくなるそうです！皆さん知っていましたか？

か？体にいい食べ物を食べていて、体によくない影響があるとは普通思わないと思います。

この出張講義で、情報を鵜呑みにせず、普段口にする食べ物についてのタメになることを教えてもらい、とてもいい刺激になりました。



看護に必要なコミュニケーションとは？

患者が求めるコミュニケーション

3組 T. M.

この講義は看護について、ということでしたが、医学、延いては日常生活にも活用できる素晴らしいお話でした。特に印象的だったのが、うなずきと相づちの話です。

相談を受けた時には、「解決してあげよう」ではなく「一緒に歩む」。うなずきや相づちをはさみながら、相手の気持ちに寄り添い親身になって話を聞いてあげる。当たり前なようで難しい、これが医療において大切なコミュニケーションのひとつなのだそうです。

今回の出張講義を受けて、医療分野に進みたい気持ちがさらに深まりました。これからも目指す自分の進路に向けて努力していきたいです。

以上が理系の講座です。

紙面の都合上、文系の4講座については、次回に掲載します。

これからの予定

| | |
|------------------|-------------|
| 1/15 ~ 18 | 修学旅行 |
| 1/20(月) | 代休 |
| 1/24(金) | 6限 進研模試〈国語〉 |
| 1/25(土) | 進研模試 |
| 1/30(木) | 読書会 |
| 2/13(木) | 3限まで授業 |
| 2/14(金) | 推薦入学選抜 |
| 2/27(木) ~ 3/6(木) | 学年末考査 |
| 2/28(金) | 卒業式 |

☆明日から修学旅行です。いい思い出になるよう、節度を守って、大いに楽しみましょう。☆